

第1回 IAC アクターズミーティング生徒会活動報告書

(IAC=インターアクトクラブ)

副DIR(地区副委員長)に3名が選出される!

活動日時：5月18日(土)14:00~17:00

活動場所：辻堂 アイクロス湘南6階会議室

参加者：3年 望月・川原・佐藤 2年 三浦(彩)・山本・石田

1年 三浦(果)・川野・高田・堀・橋本・齋藤・川崎・松本・藤本・吉原・野村・谷口

報告者：生徒会2年 石田成宏 山本暖歌 三浦彩夏

補筆 武田 校正 荒川 伊藤



◆ 活動の意味と目的

- ①. 活動を通じ自己を研鑽し、コミュニケーション力、発信力、メンバーシップ、リーダーシップを育成していく
- ②. インターアクトクラブを通じアクトメンバー、学友、ロータリアンの方々と交流することで、共通理念を形成し人にやさしく、人を助ける正しい態度を身につけていく
- ③. インターアクトクラブでの活動を生徒会活動に持ち帰り、本校生徒会の活動に還元する

◆ 活動内容

令和元年、最初のインターアクトクラブは辻堂にあるアイクロス湘南で行われました。国際ロータリークラブは6月で年度が変わります。当然、下部組織であるインターアクトクラブも6月で年度が変わるため、この5月の例会が、新執行部を決める例会となります。会の冒頭には新しい委員長からの挨拶がありました。その後、新年度のDIRと副DIRを決めました。DIRとは、地区のインターアクトの委員長ということになりますから、第2780地区インターアクトクラブを代表する人となります。DIRは、その年の幹事校から出すことになっています。従いまして、副DIRが、各校から選出されることになりました。新執行部が決定すると、その後は「学友の時間」になりました。学友とは、インターアクトクラブを終えたOB、OGが、インターアクトのメンバーのためにファシリテイトしていただける存在です。「学友の時間」では、各自の自己紹介をゲーム形式で行い、令和元年度最初の例会は終わりとなりました。

◆ 感想

新年度最初のインターアクトクラブでした。従いまして新執行部を選定する例会になります。今回、本校より、3名の副DIRが選出されました。DIRは、幹事校の代表生徒が就任するので、各校から出るのは、副DIRということになります。副DIRは、複数制になっていますから、例年3名程度が選出されることとなりますが、先に3名の副DIRの立候補があり、その3名が就任しました。しかし、3名が女性だったため、男性の副DIRも欲しいということになり、私が、副DIRに立候補しました。

初め自分も気後れしていましたが、思い切って立候補しました。後輩も多く入り、やはり自分自身、心機一転する必要があると思ったからです。副DIRとして会を引っ張って行けるように努力してまいります。

記:生徒会2年 石田成宏

今回、私は副DIRに就任しました。本校の生徒でインターアクトクラブの活動を理解している生徒は多くないと思います。実際、私も生徒会に入らなければわかりませんでした。私としては1年間、生徒会を通じインターアクトの活動を知るにつれ、前向きに会の活動をしていこうと考えるようになりました。副DIRに就任したことで、これを機に自らがより活動の内容を理解するとともに、生徒会が学校行事以外で行っている活動を全校に共有・把握してもらえるように、ほかの二人と協力して行動して行きます。

私は生徒会に入会して1年足らずですし、どこまでやれるか分かりませんが、口だけにならず、交代式で話したように学校全体をサポートできるように取り組んでいきます。そのためにも、部活動を継続し、生徒会での副会長職と、インターアクトでの副DIR職に自覚を持ち、どれにも偏らず「初心忘るべからず」の言葉を心掛けて行動していきます。まだ力不足なところもありますが、どうかご協力をお願いします。

記:生徒会2年 三浦彩夏

今回、副DIRに就任いたしました、生徒会2年の山本暖歌です。私が副DIRに立候補した理由は、昨年副DIRとして活躍した本校の2名の先輩方の活躍を見て、仕事内容に興味を持ったことがきっかけです。私自身も、まだまだ、分からないこともあります。インターアクトクラブの副DIRとして精一杯頑張ります。宜しくお願い致します。

記:生徒会2年山本暖歌